

# ロータリー

## インフォメーション

### 理事会だより (2020年度第1回)

九州支部から庶務理事として理事会に出席させていただきます。と言っても会議が終わってからだと最終便の飛行機には間に合わず、Web会議なるもので出席させていただくこともしばしばです。会議に出席すると移動も含め1日半がかりですが、居ながらにして出席できかつ旅費もかからないWeb会議はたいへんありがたい仕組みです。それが、このところの新型コロナウイルス感染防止対応のおかげで、原則がWeb会議になりつつあります。2019年度は6回の理事会が開催されましたが、2020年度の第1回理事会は3月31日に開かれました。当日は、内山代表理事、志智事務局長をはじめ7名の理事が五反田の会議室に参集し、それを上回る11名がWeb会議で参加しました。以前のWeb会議への参加は5名が最大でしたが、Webexというシステムに更新され200名まで参加可能になったそうです。基本は分析化学会の会議室で会議が進行され、必要に応じ外の参加者が意見を述べるという形です。なので、Web会議の参加者はタイミングをつかみにくく、気

軽に発言しにくいところがあります。それに加え会議室での議論が聞き取りづらいこともしばしばありました。おそらくマイクと発言者の位置関係によるものと思われますが、当初は問題がありながらも順次改善していく過程にあるところでした。事務局側でも事前のトライアルデモを設定していただき、たいへん気を使われて導入・運営をされています。

さて、新しい年度となりましたが、懸案事項が消えてなくなるわけではなく、昨年度に引き続き様々な課題に取り組んでいかななくてはなりません。このような状況については、茶山理事による前回の「理事会だより」(3月号)や石濱副会長による4月号最初の頁の「とびら」をお読みいただければ、学会の運営状況やすすむべき道がよく書かれていますので参考にしてください。今回も組織運営、分析化学投稿規定、討論会・年会、会員状況などについて審議や承認が行われました。特に2019年度の収支決算については時間をかけ説明と審議がなされました。今回は、以上の項目に加え、新型コロナウイルスによる影響に対処しなくてはならず、理事会のリーダーシップが要求されるようになりました。討論会など学会の開催をはじめ難しい判断を要するものも少なくありません。このような中、分析化学会が所有するDVDやビデオを無償で提供する提案がなされ、全会一致で承認されました。本理事会開催日の段階で、多くの大学で遠隔の講義が検討されていましたが、いち早く決定され講義の選択肢が増えたことは大学に勤めているものにとってはありがたい事項となりました。すでにアナウンスされご承知の方も多いと思います。

このように、理事会では通常の学会運営にかかる事項を決めながらも学会の課題を見直し10年後の新しい形を目指しています。今年度はそれに加え新型コロナウイルスによる影響への対応が加わり、たいへんな年になりそうです。みなさまも学会に対するご意見などありましたらお近くの理事にお声がけください。

[庶務担当理事 戸田 敬]

## 執筆者のプロフィール

(とびら)

東海林 敦 (Atsushi SHOJI)  
東京薬科大学薬学部生体分析化学教室 (〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1)。東京薬科大学博士後期課程修了。博士(薬学)。《現在の研究テーマ》生体機能解析技術および生体機能を再現した計測技術の開発。《趣味》フットサル。

(ミニファイル)

小沼雅敬 (Masayuki ONUMA)  
東芝アナナリシス株式会社 化学分析技術

センター (〒235-8522 横浜市磯子区新杉田町8)。

宮澤美香 (Mika MIYAZAWA)  
東芝アナナリシス株式会社 化学分析技術センター (〒235-8522 横浜市磯子区新杉田町8)。

(トピックス)

岩切良次 (Ryoji IWAKIRI)  
環境省環境調査研修所 (〒359-0042 埼玉県所沢市並木3-3)。愛媛大学大学院連合農学研究科博士後期課程修了。博士(学術)。《現在の研究テーマ》環境試料を対象とした残留性有機汚染物質の分析方法。  
E-mail: RYOJI\_IWAKIRI@env.go.jp

平本 薫 (Kaoru HIRAMOTO)

東北大学大学院環境科学研究科 (〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-11)。修士。《現在の研究テーマ》電気化学計測による3次元細胞組織の評価。《趣味》パン作り。  
E-mail: kaoru.hiramoto.s5@dc.tohoku.ac.jp

(リレーエッセイ)

坂本美穂 (Miho SAKAMOTO)  
東京都健康安全研究センター (〒169-0073 東京都新宿区百人町3-24-1)。東京大学大学院薬学系研究科修士課程修了。博士(薬学)。《現在の研究テーマ》薬物分析。